

地域・暮らし・家庭の

人間関係を考える

平成22年度 立正大学 心理学部 公開講座

全3回

■ 受講者募集 (受講料無料)

■ 日程・会場等

第1回 10月 2日 (土)
第2回 10月16日 (土)
第3回 10月23日 (土)

開場 15:30
開演 16:00
終了 17:30 (予定)
会場 立正大学大崎校舎
総合学術情報センター
(11号館)5階1151教室

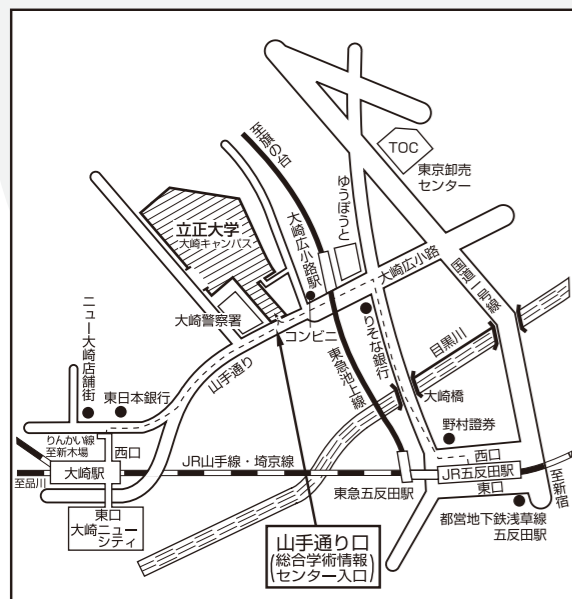
募集要項

- ◆対象: 16歳以上の方(お子様連れ可)
- ◆定員: 150名(定員を超えた場合は抽選)
- ◆受講料: 無料
- ◆申込方法: 往復はがきに講座名「立正大学心理学部公開講座」・住所・氏名(ふりがな)・年齢・性別・連絡先電話番号をご記入の上、品川区(下記、問い合わせ先参照)までお申し込みください。
- ◆申込期間: 平成22年9月1日(水)～ 9月17日(金)消印有効
- ◆問い合わせ: 品川区地域振興事業部 文化スポーツ振興課 生涯学習係
〒140-8715 品川区広町2-1-36 TEL03-5742-6837
※ ご提供頂いた個人情報、立正大学心理学部公開講座のみに使用し、この目的以外には使用いたしません。
- ◆小さなお子様をご同伴なさっても結構です。もしもお子様がじっとしていられなくなったら、静かに会場の外に出て、リラックスさせてあげてください。(託児は実施いたしません)

会場案内

※駐車スペースがございませんので、車のご来校はご遠慮ください。

立正大学大崎校舎 〒141-8602 品川区大崎 4-2-16
TEL 03-3492-6196(心理学部事務室)



交通アクセス

JR山手線	五反田・大崎駅下車	徒歩5分
東急池上線	大崎広小路駅下車	徒歩1分
都営浅草線	五反田駅下車	徒歩5分
東急バス 渋41 (渋谷駅一井町駅)	大崎警察署前下車	徒歩1分

平成22年度 立正大学心理学部公開講座

地域・暮らし・家庭の人間関係を考える

近年、地方分権化が急速に進んできている中で、行政はさまざまな事業を展開して、そこに住まう人々が地域の中で、安全で豊かな生活が送れることを願ってきています。近頃は年配のご夫婦が仲良くお散歩されている姿を街でみかけることも多くなり、行政の目指している地域での落ち着いた暮らしが形になりつつあることを感じます。これからは市民の立場からも地域を豊かに過ごしやすいものにしていくよう、知恵や力を集めて協働していきたいものです。

このたび、立正大学では平成23年4月から、心理学部に「対人・社会心理学科」を新設いたします。これまで、人々の心の健康や生き方について、講演や臨床相談を通して地域との連携を進めてきた「臨床心理学科」とともに、よろしくお願いたします。本年度の心理学部公開講座では、3回の講座を企画しました。第1回は「だましの手口を見抜くー消費者トラブルのない豊かな地域生活を考えるー」、第2回は「人に対する思い込みー偏見・ステレオタイプはどう作られていくのかー」、第3回は「夫婦や恋人の間に潜む暴力ーDVとデートDVに気づくー」です。いずれも市民の生活に密着したテーマで、皆様の関心にお応えできるものと考えています。

第1回

だましの手口を見抜くー消費者トラブルのない豊かな地域生活を考えるー

開場15:30~
開演16:00 終了予定17:30 於：総合学術情報センター11号館 5階 1151室

10月2日(土)

立正大学 心理学部講師 高橋 尚也 (たかはし なおや)

近年、振り込め詐欺や悪徳商法、霊感商法などの消費者トラブルがあとをたちません。こうしたトラブルの背景には、巧妙なだましのテクニックが潜んでおり、ある特定の状況では誰でもトラブルに巻き込まれてしまう危険性があります。そこで本講座では、だましの手口やだまされてしまう心理について解説し、消費者トラブルを避けるための方法について考えます。また、消費者トラブルの回避に有効な「地域での人間関係の豊かさ」に注目し、どのようにすることで地域での人と人のつながりが築きやすくなるか、何が人と人とのつながりを阻害しているのかを、対人・社会心理学の研究結果をもとに議論していきます。

プロフィール



- 最近の研究成果
 - ・住民との「協働」に関わる自治体職員の意識に関する探索的検討(産業・組織心理学研究,2007年)
 - ・成人における行政との協働意図および協働経験を規定する要因の検討(心理学研究,2008年)
 - ・The relation of the images of people engaged in public service and the attitudes towards politics and society in Japan. (Tsukuba Psychological Research, 2010年)
- 学会活動・社会的活動
 - ・日本行動計量学会 編集委員
 - その他、日本社会心理学会、日本心理学会、Society for Personality and Social Psychologyなどの会員。
- 研究テーマ
 - ・住民と行政との協働プロセスに関する心理学的研究、青年や成人の政治や社会に対する意識の形成に関わる研究

第2回

人に対する思い込みー偏見・ステレオタイプはどう作られていくのかー

開場15:30~
開演16:00 終了予定17:30 於：総合学術情報センター11号館 5階 1151教室

10月16日(土)

立正大学 心理学部教授 上瀬 由美子 (かみせ ゆみこ)

初対面の人と話をすると、出身地や血液型の話は便利です。「大阪の人はせっかち」「A型の人はまじめ」など共有されたイメージが、会話の潤滑油になるからです。しかし、そのイメージは必ずしも正しいとはいえず、場合によっては偏見となって人を傷つけます。また、民族や国に対する固定化された思い込み(ステレオタイプ)が、集団間の紛争にまで発展する場合があります。講演では、これらのステレオタイプや偏見がどのようにして私たちの心の中に作られているのか、それはどのように変えることができるのかについて考えていきます。

プロフィール



- 最近の研究成果
 - ・社会と人間関係の心理学(岩波書店,2007)
 - ・ステレオタイプの社会心理学(サイエンス社,2002)
 - ・被職業スティグマ意識と対処方略(社会心理学研究26巻,2010年)
 - ・北京オリンピック視聴と中国・中国人イメージの変化(メディア・コミュニケーション60巻,2010年)
- 学会活動・社会的活動
 - ・日本心理学会
 - ・日本社会心理学会
 - ・日本教育心理学会
- 研究テーマ
 - ・偏見やステレオタイプの形成と変容

第3回

夫婦や恋人の間に潜む暴力ーDVとデートDVに気づくー

開場15:30~
開演16:00 終了予定17:30 於：総合学術情報センター11号館 5階 1151教室

10月23日(土)

立正大学 心理学部准教授 米田 弘枝 (よねだ ひろえ)

夫婦や恋人等の親密な関係にある者から振るわれる暴力のことを、ドメスティック・バイオレンス (Domestic Violence) =DVといいます。暴力は、犯罪となる行為をも含む重大な人権侵害であるにもかかわらず、夫や妻という昔からの固定的役割のなかに隠れ、外からは見えにくいのが特徴です。暴力は心や体を深く傷つけるだけでなく、子どもにとっては児童虐待にあたります。また、暴力は、高校生や大学生などの若いカップルの間にも起きています。暴力に気づき、男女がお互いを尊重し、協力しながら生活を豊かにしていくことをめざします。

プロフィール



- 最近の研究成果
 - ・編著「危機への心理支援学」遠見書房2010.6.15
- 学会活動・社会的活動
 - ・所属学会：日本心理臨床学会、日本トラウマティック・ストレス学会、日本子どもの虐待防止学会
 - ・社会的活動：日本臨床心理士会 倫理委員、被害者支援専門委員、東京臨床心理士会 理事、災害・犯罪等専門委員会委員長
- 研究テーマ
 - ・ドメスティック・バイオレンス、児童虐待等被害者支援